



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）

〒680-0846 鳥取市扇町2-1番地

鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館内

TEL：0857(22)0578 / FAX：0857(22)0593

URL：http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/

発行者 岡崎 周治

第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会



8月2日(金)に「第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を中部地区で開催いたしました。本年度は、午前の全体会をエースパック未来中心で、午後の分散会を未来中心とその他5会場で行いました。実に5年ぶりの1日開催でした。猛暑の中でしたが、1000人以上の皆様にご参加いただき、充実した研究集会となりました。ありがとうございました。

さて、久しぶりに行った全体会では、まず開会行事と基調提案を行いました。ご祝辞をいただいた亀井副知事様、広田倉吉市長様をはじめ、たくさんのご来賓にご列席いただきました。

その後に、本年度は地元中部地区の倉吉市・琴浦町出身のPaix²（ペペ）のお二人による「人権ふれあいコンサート」を行いました。お二人は2002年以降、矯正施設でメッセージコンサートを数多く行っておられます。その施設でのことも含めて、およそ1時間20分の歌とトークでしたが、楽しく、そして時に深く考えさせられる構成で、時間があっという間に過ぎていきました。初めてお二人の歌を聴かれる方も多かったようですが、たくさんの方々から「とても心に響いた」「感動した」「また聴きたい」といった感想をいただきました。

午後からは、各会場に分かれて8分散会を行いました。どの分散会も例年以上に充実した内容だったことが、参加者のアンケートからもうかがえました。実践報告・討議・交流を通してそれぞれの学びが深まったと感じています。

研究集会開催にあたり、関わっていただいた報告者や役員の皆様、大変お世話になりました。多大なご支援・ご協力をいただき、無事に研究集会を終えることができました。心より感謝申し上げます。なお、中部地区の高校生10名と引率の先生3名に受付ボランティアとして参加していただきました。これも5年ぶりのことでした。



今年度は一日開催といたしました。5年前とはコロナ禍を経て様々な状況が大きく変化しており、今まで通りにはできないことが多々あることを実感いたしました。駐車場不足などでもご迷惑をおかけしました。来年度は、大きな節目の「第50回」の研究集会となります。東部地区での開催予定ですが、たくさんの方々に参加され、一人ひとりに実りある大会となりますように、課題点をしっかり振り返り、これからまた準備を進めて参りたいと考えております。

第75回全国人権・同和教育研究大会について

◇開催地◇ 熊本・福岡・鹿児島に分散して開催

◇期日◇ 2024年11月30日(土)、12月1日(日)

全国各地で取り組まれている人権・同和教育の実践を交流し、学び合う研究大会です。

鳥取県からの報告者、役員は右表のとおりに決まりました。4名の方々には、公私にご多忙の中、大変お世話になります。

開催要項は、8月末に関係各所に配布しています。コンパクトで持続可能な全人教大会めざし、全体会を人数制限したり、参加をWeb申し込みに限定したりと例年と大きく異なります。参加ご希望の方で、ご質問等ありましたら、鳥取県人教までお問合せください。分散会のWebでの申し込みは10月末頃開始予定です。収容人数枠が決まっていますので早めの申し込みをお願いします。

◆報告者 社会福祉法人 敬仁会 伊藤 誠 さん
ウインディ エリスナ さん
「外国人介護人材が働きやすい職場づくり」

◆分科会・分散会 第4分科会 人権確立をめざすまちづくり

◆実践報告協力者(司会)

・進路・学力保障部会

岡垣 祐二 さん (鳥取中央育英高校)

・人権確立をめざすまちづくり部会

福壽 みどり さん (鳥取市人権情報センター)

全人教 進路保障担当者会・第2回研究企画委員会

7月13日(土)

於 アネックスパル法円坂

進路保障担当者会には、リモートで県東部高等学校人権教育研究会より、住田 泉先生(鳥取商業高校)、山田 文彦先生(鳥取敬愛高校)のお二人が参加されました。そして、「進路保障の取組と課題」について、昨年度の生徒へのアンケート調査の結果、受験報告書に基づく取組の流れなど実践報告されました。この会での提供資料の中に、2022年の自殺者のうち「奨学金の返還を苦しめたと考えられる人」が10人いたこと、自殺の原因や動機項目に「奨学金返還」が加わったことがありました。全人教として10月の文科省、厚労省への要請行動で、「奨学金返還」、統一応募用紙の「性別欄」の削除など具体的に要請していくことが確認されました。

また、「全国高等学校統一応募用紙」制定50周年記念ブックレット」が発刊されましたが、この中にも、鳥取県東部高研の取組が掲載されています。統一応募用紙制定に至るまでの経過や現状と課題など詳しく記述されています。1300円プラス送料になります。お申し込みは全人教事務局までお願いします。(TEL 06-6755-4081 fax 06-6755-4083)

研究企画委員会では、大会規模、申し込み方法などが大きく変わる第75回全人教大会の詳細な説明や注意点の説明が多くなされ、長い歴史をもつこの研究大会も大きく変わっていくことを実感しました。また、不確定な部分はありますが、第76回大会は、来年11月29日(土)、30日(日)に千葉県で開催予定です。丁寧なレポート検討を中心とした大会をめざし、全体会は縮小し500人規模、分散会への移動なしで全ての分散会場はオンラインで全体会視聴を可能にし、分散会の会場も駅近くの学校とするなど、コンパクトな大会という指向です。

編集後記



動画配信サイトで映画「福田村事件」を視聴しました。昨年、関東大震災から100年目の年、地震による社会不安の中、香川県からの菓の行商団が千葉県福田村で虐殺された痛ましい事件の映画化です。いろいろと話題になりましたが、私個人の感想としては、エンターテインメントとしての映画とドキュメンタリーとの難しさを感じました。竹やりで虐殺する映像があそこまで多く必要か、むしろ住民が虐殺に至るまでのきっかけや心の葛藤のプロセスをもっと描くべきと思いました。虐殺場面が脳裏の残り、後味の悪い印象が残った映画でした。こういう残酷な事件の映画化の難しさを感じました。次は、機会あれば、「オッペンハイマー」を見てみたいと思います。(石岡)